

会 議 名	令和5年度板橋区立郷土資料館運営協議会
開催日時	令和6年2月28日(水) 午前9時45分～午前11時15分
開催場所	郷土資料館講義室
出席者	14名
	運営協議会委員 学識経験者委員 5名 (7名) 住民代表委員 1名 学校教育関係者委員 1名
	区 職 員 雨谷地域教育力担当部長 (9名) 太田生涯学習課長 齋藤郷土資料館長 吉田文化財係長 増田学芸員 四戸学芸員 細縦学芸員 津金学芸員 杉山学芸員
会議の公開	公開
傍聴者数	0人
議 題	1 正副会長の選任について
	2 郷土資料館事業報告
資 料	令和5年度板橋区立郷土資料館運営協議会資料
所 管 課	教育委員会事務局生涯学習課 郷土資料館 03(5998)0081

【開会】開会挨拶、委員紹介、事務局職員紹介

【地域教育力担当部長挨拶】

【議題（1）】正副会長の選任について

互選により、会長に森田委員、副会長に中野委員を選任

【議題（2）】郷土資料館事業報告

①令和4年度 事業報告 ②令和5年度 事業経過報告
郷土資料館長から資料に基づき報告

【質疑】

○住民代表委員（別府委員）

学芸員の欠員があったが、任期付職員が採用され、また、生涯学習課の応援体制もあり、展示や「武者行列」も滞りなく実施できてよかったと思っております。

広島県三次市の博物館、府中市の博物館や太田市の満徳寺資料館のように新しい技術を使った「動く展示」や「聴く展示」を活用した展示が増えつつあると思います。成増小学校の展覧会ではQRコードをスマホで読み込み、その作品の説明を音声で流す、ということをやっていました。学芸員や職員は、勤務中ないしは休暇中に他の資料館や博物館を見学するなどして、日常的に研究・体験し、展示を工夫する必要があると思います。

企画展「板橋の現代化」は図録の写真が暗くて、見にくかった。ある程度加工して見やすくした方が良かったのではないのでしょうか。

特別展「いたばしの富士山信仰」は単なる富士塚の紹介だけでなく、いたばしの人があちこちに出掛け、御師の家や他の富士塚とも交流があった記録が残されており興味深かったが、文字が小さくて読みにくかった。来館者は高齢者が多いので、ガイディングレシーバーやスマホなどを使い、聴きながら見るとわかりやすいと思います。

○郷土資料館長

代替の職員がついたとしても、勤務中に見学に行くのは、なかなか時間的に厳しいところがあると見ていますが、とても大事なことだと思っています。

また展示の工夫ということですと、「煎茶にしませんちゃ」の展示のときに、実際に茶葉を出して、クイズっぽいことをしたり、特別支援学校の生徒さんが来たときには、実際に展示物に触れてもらい、その重さとか質感を体験してもらって、体で感じてもらうとか、そんなところも工夫の一つとしてございます。

また、来年度の計画の中で、新しい試みとしてAR体験、拡張現実体験というのを計画しています。来館者ご自身がスマホで、館の中の展示のQRコードを読むと、その仮想のコンテンツで、例えば古民家を写すと、ほかの背景が重なって見えるような、そんなような取り組みを今計画しています。具体的にどの展示でどのようなことをするかはこれから詰めていく内容でございます。

○生涯学習課長

学芸員の産休につきましては、令和5年5月から入り、令和7年4月まで育児休業の

予定です。今のところ任期付職員が来ておりまして、令和7年3月まで働いてもらう予定です。また文化財系の応援につきましても、タイミングを考えながら続けて出していきたいと思っています。館の運営には支障をきたさない形でやっていきたいと考えているところです。

○学識経験者委員（小倉委員）

今の件で、ライフイベントが生じることによって職員の応援や交代があることは、現在の社会の中で当たり前のことになりつつあると思います。博物館運営がぎりぎりの人員体制で運営していることを危機感として受けとめていることは事実ではありますが、ライフイベントが当然のことと意識されるような職場環境を整えていかなければならいと、私自身は思います。

○学識経験者委員（入江委員）

区内にはいろいろな古文書があると思いますが、その受け入れ先は、資料館なのか図書館なのか。どこでしょうか。

○文化財係長

図書館には収蔵機能がございません。郷土資料館にはあるので郷土資料館ということになります。

○学識経験者委員（入江委員）

資料館にはたくさんの古文書があると思いますがそれを区民の皆さんに読んでいただくというような活動についてはどうお考えでしょうか。私の地元の博物館では1年単位の講座があり、私もメンバーですが、講座の卒業生が自主グループを作り、館からいただいた文書をグループで解説し、館におさめるという活動をしています。

○郷土資料館長

資料館の古文書講座につきましては専門の先生をお呼びして、申し込みを受けた区民の方を対象にした短期の講座なので、そのような活動は今はないのが現実です。

○学識経験者委員（入江委員）

実は今、年寄りはずごく向学心が旺盛です。年寄りの知的好奇心の活動の場をぜひ作っていただきたいと思っています。

○文化財係長

新規の古文書も収蔵されているところですが、学芸員も今、世代交代をしており、誰がどのように整理をして、そして活用して、保存していくかっていうのは、これからの課題だと思います。

○会長（森田委員）

板橋区は、資料館があり、公文書館があり、そして図書館もあることが強みだと思います。最近よく、博物館と公文書館と図書館の連携の必要性が言われていますが、こういう生涯学習の問題も連携が必要だと思います。何でも資料館で全部引き

受けるのは大変ですが、せっかくのものが活用されないでいるのはもったいない。板橋区の文化財行政とか生涯学習関連部署で連携をとってやっていくというのも一つの方法だと思います。

○副会長（中野委員）

QRコードを活用した展示は、今後当然の流れとして出てくるとは思います。一方で高齢者の方たちはスマホを持っていても、館に来たときに、すぐにQRコードを読み込めるか心配です。高齢者の方たちにも、最初に一声掛けるというような配慮をすることでスムーズにこういう技術を活用できるかなと思いました。

それから、先ほど古文書の話が出ていましたが、古文書の裏打ちというのは、板橋区ではどこでなされていますか。

○文化財係長

基本的には文化財になっているようなものは、きちっと裏打ちをする場合もごさいますが、そこまできちんとやってないところもあります。今のところの方向性は、開封できなければ無理に開けないという整理の仕方をしております。

○副会長（中野委員）

文書の裏打ちは、ちょっと練習すれば学生にもできるものです。であれば、高齢の方でお時間がある興味がある方は、古文書を読むことと併せて一連の作業として、読む前に裏打ちの作業をしていただくような取り組みがあっても面白いのではないかと思いました。

○委員長（森田委員）

常々言われていますが、博物館が抱える業務っていうのは多忙なので、何でもかんでも学芸員だけで背負い込む問題ではないと思います。コーディネートする方に回ってもいいのではないかと思います。ただコーディネートも大変ですが。

今日出された意見を、今後の参考にさせていただけたらと思います。

○学識経験者委員（鈴木委員）

今回の資料をいただいたときに、率直な感想として、非常に事業が多いなという印象を受けました。今、地域博物館は、世代交代や、ICTの利用だとか、非常に大きな転換期にあるので、そういった中で、従来のこの事業をどれだけ継続できるのか、或いはどれくらい費用対効果があるのか。学芸員、或いは職員も含め、大変な作業量だというのは推測ができますが、果たしてそれだけの効果があるのか、を含めて、一度少し見直すべきなのかな、というのが率直な感想でした。

非常にいろいろなことに事業を展開されていますが、もう少し集約するとか、何かに特化するとか、少しメリハリをつけて、限られた人員の中で、何ができるのかということを考えていってもいいのかなと思いました。

もう一つ、ボランティアなどの協力関係は、どういうふうになっていますか。

○生涯学習課長

昨年度の運営協議会でもご意見をいただき、人事当局にはこの資料館の運営自体が厳しい状況だという話はさせていただいているところです。運営協議会の意見を付け加えて、何とか任期付職員を今、確保させていただいたというような状況で、

年度年度で私から人事当局に、資料館の運営状況が厳しいという旨でスタッフの増員をという要望を今後も続けていきたいと思っています。

2点目のボランティアの活用でございますけれども、本課と資料館と私ども両方ございますが、史談会さんですとか、まち博さんっていったところと協働させていただきながら、事業展開をしているという現状がございます。

○文化財係長

板橋史談会、いたばしまち博友の会の他に、観光ボランティアの方が、非常に熱心に、特に文化財のガイドなどされています。

○会長（森田委員）

やはり全部博物館の中で背負うべき問題ではないので、どう役割分担していくか考え、生涯学習課が一丸となりやっていっていただきたい。

また、23区の中には、非常勤職員だけで運営を行っている館もありますが、板橋区には正規職員の学芸員が配置されています。そういう面では、板橋区がしっかりとやっていかないといけない、と個人的には思います。

○学識経験者委員（小倉委員）

鈴木委員からの、事業が多いというお話に大変共感しました。

それから、各博物館で行っている事業が非常に類似している、という感想があります。例えば関東大震災の展示っていうのは、各地でやっています。関連企画を、例えばみんなでシェアして巡回型の合同企画展にして、そこにご当地展示を半分ぐらい付け加える、ということも考えていかれた方がいいのではないかと思います。予算の面でも、企画のコンセプトの面でも、多方面に訴求できるような内容のものがつくれるのではないかと考えます。近々では、例えば「昭和100年」というような、社会的に共有できるようなテーマが今後出てきますが、そうしたときに協働することで、業務量を抑えつつお互いに豊かになれるのではないのでしょうか。

【議題（2）】

③令和6年度事業計画

資料に基づき各担当学芸員から説明

【質疑・意見交換】

○学校教育関係者委員（木村委員）

来年度は150周年を迎える紅梅小学校と板橋第一小学校の展示は、該当の学校以外の子供たちにとっても、すごく興味のある内容ではないか思いますし、私も楽しみに思っています。

資料館へは社会科見学で、3年生の子供たちと3回見学に来ていますが、古民家はすごく子供たちにとってもインパクトがあり、楽しいものだと思うのですが、館内の展示は難しく、何かできないかなと思っています。

小学校3年生の学習内容として、3学期に板橋区のうつり変わりという学習をやりますが、大体100年ぐらいの間、というふうに学習指導要領などと言われていて、3年生が学習する一番古い年代がそのままおじいちゃんおばあちゃんが子供の頃、というようになっていますが、そうなるくと、30年ぐらい前ならそれがマッチしていたのですが、今だとちょっと古過ぎているような感じがします。

学校の規模の違いがあり大変だとは思いますが、例えばこの講義室を使って、おじいちゃんおばあちゃんが子供の頃、お父さんお母さんが子供の頃のように分けた、衣食住に関わる変遷みたいな展示及び説明みたいなことができるといいと思います。

それが無理であるなら、例えばICTとかホームページ等を活用して、そういうものを整備していただければと思います。学校の教員は業務が多く教材を吟味する時間がないので教員にとってもすごくありがたいと思います。

あと、3年生の1学期に板橋区の全容を知るという学習の中で、板橋区にある文化遺跡をざっと眺めるような内容の学習があります。それに基づいて1学期に見学に来ている学校もあると思いますので、その辺の資料もあると子供たちにも教員にもすごくいい、と思いました。

あと高島平地区にある学校は、高島秋帆が訓練を始めた日ということで、5月9日が開校記念日です。ですので、その時期に高島秋帆の特集を計画してくださるとありがたいと思ったりしています。

1階常設展の展示はすごくいいのですが、やはりなかなか難しいというか、残らないというところがあるので、その辺の資料も、例えば、ホームページなどに出していただけるといいと思いました。

○会長（森田委員）

学校見学の時期なども念頭に置いて展示の内容やスケジュールを考えていただけたらいいと思いますので、学芸員の方よろしくお願いします。

○学識経験者委員（入江委員）

私は専門が音楽なので、紅梅小学校の校歌を聞きたいです。

紅梅小学校の特別展と、板橋第一小学校のコレクション展ですが、この関係がどうなっているのかと思いました。

○担当学芸員

校歌につきましては、紅梅小学校から音源を借りて展示室で流すことになっております。

コレクション展との関連につきましては、年間スケジュールの関係もあって、期間はずれてしまいましたが、区内の、創立150周年を迎える小学校が紅梅小学校と板橋第一小学校の2校があるのですが、板橋第一小学校は、紅梅小学校のように学校資料だけで展示が一つできるような資料が残ってないのです。つきましては板橋第一小学校についてはコレクション展として紹介させていただくというところなんです。

○学識経験者委員（入江委員）

両校を比べると、いかに紅梅小学校が地域と深く関わってきたかという、特徴がよくわかりますね。

チラシには紅梅小学校だけではなくコレクション展の板橋第一小学校のことも併せて載せてほしいと思います。

それと資料館の企画展のポスターは成増駅にも貼ってありますか。専用の掲示スペースなどに定期的にポスターを貼ればこちらに来る方もいるのではないかと思います。

○住民代表委員（別府委員）

専用のものではありません。区の掲示板はロータリーの奥にありますが、貼るスペースを取るのなかなか難しい。

○学識経験者委員（入江委員）

一番人出が多いところに貼って欲しいですね。

○会長（森田委員）

周知について工夫をしていただきたいと思います。

○学識経験者委員（鈴木委員）

民俗展示で人の一生を取り上げるというのは、とても興味深い。特に昭和の歴史を振り返るっていうことが、これからとても大事になってくるだろうと。そして、歴史資料として写真をうまく使うというのはとても大事。昭和の歴史を振り返る時に写真をうまく使うことで、一番変化がわかりやすくなります。

もう一つは、先ほど展示がわかりにくいという話がありましたが、誰かがそこに介在しないと物の展示ってなかなか使い方とかやり方がわからないのですよね。誰かがいなくてもわかるようにするには、実は博物館的な説明をするよりは、興味関心を惹かせるような問いかけをしたほうがいいのです。

歴史展示の古文書も、全部を理解してもらうのではなくて、キーワード的なものだけを見せるとか、関心を持つきっかけをつくるような展示の工夫が大事だと思いますので、検討していただきたいと思います。

○会長（森田委員）

展示室だけですべてを理解させようとか、万人を理解させようということは無理なことなので、自分が一番伝えたいことを中心的にやり、あとは展示室以外のところで発信していく、そういうやり方も考えていただきたいと思います。

○副会長（中野委員）

写真の活用ですが、常設展示室に大きなタッチパネルがあり、板橋区の地図をタッチするとその場所の移り変わりを写真で見られるようになっていきます。駅周辺の写真はあるのですが、それ以外の場所の写真はあまりありませんでした。場所がわかるように町名くらいは入れたうえで、写真のコレクションを増やしていただければと思います。

それから、時代設定について。小学3年生の祖父母が育ったのが昭和30年代、となると、昭和30年代以降のものを展示すると、子供だけではなく家族で見ることができかなと思いました。それより以前のものもちろん重要ですが、昭和30年代あたりで終わりではなく、そこからもっと現在も意識して変遷を見ていくことは重要だと思っています。

展示の工夫ということでは、奈良の万葉文化館は、例えば万葉の歌の読み方をラップ調にしてみる等、現在の音楽も取り入れながら説明し、その上で、クイズにしています。当時のことは誰もわからないけれども、でもちょっと面白い。そんな工夫がされていました。郷土資料館だからすごく真面目にしなくてはいけないというわけではなく、ちょっと遊びを入れてもいいのではないかと考えております。

○会長（森田委員）

先ほども話題に出ましたが、他館の調査は必要なのです。そのための予算をとるのはなかなか難しいのかもしれませんが、出張の際は1泊くらい余裕を持ち、他の博物館を見学してこられるような、上司の皆さんにはご配慮をお願いしたいと思います。

調査研究は学芸員の土台になるものなので、自分の研究を蓄積させていくことが、結果的には展示の質を向上させ、博物館の活動にも帰ってきます。

そして学芸員の方には研究成果をまとめ、研究発表もやっていただきたいと思います。

【閉会】

○生涯学習課長

本日の皆様からいただいたご意見、ご指導を踏まえて、令和7年度の事業計画等に向けまして、よりよい運営に努めて参りたいと考えているところです。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。以上をもちまして令和5年度板橋区立郷土資料館運営協議会を終了させていただきます。

令和5年度 板橋区立郷土資料館運営協議会

日時 令和6年2月28日（水）
9時45分～11時15分

場所 板橋区立郷土資料館 2階講義室

次 第

1 開 会

2 挨拶 地域教育力担当部長

3 議 題

(1) 正副会長の選任について

(2) 郷土資料館事業報告

① 令和4年度 事業報告 (P1～P8)

② 令和5年度 事業経過報告 (P9～P15)

③ 令和6年度 事業計画説明 (P16～P23)

4 意見交換

5 閉 会

【添付資料】

- 資料…令和5年度板橋区立郷土資料館運営協議会資料

令和5年度
板橋区立郷土資料館
運営協議会 資料

令和6年2月28日(水)
板橋区立郷土資料館

目 次

1	令和4年度	事業結果	1
2	令和5年度	事業経過	9
3	令和6年度	事業計画	16
4	企画展・特別展	企画書(案)	18
	ミニ企画展	企画書(案)		
	コレクション展	企画書(案)		
5	参考資料			
	(1)	板橋区立郷土資料館運営協議会要綱	24
	(2)	郷土資料館入館者数	25
	(3)	板橋区立郷土資料館運営協議会委員名簿	26

令和4年度 事業結果

1 展示事業

(1) 常設展示

令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)

入館者数 30,439人 【306日間】

(2) 区制施行90周年記念展「板橋区の成り立ちとあゆみ」

展示期間 令和4年4月23日(土)～6月19日(日)

展示会場 2階企画・特別展示室

入館者数 4,023人【50日間】

関連事業 クイズラリー 参加者数・123人

「資料館にりんりんちゃんがやってくる！」

実施日 令和4年5月28日(土)、6月4日(土)、
11日(土)

会場 1階ホール

実施状況 参加者数・173人

(3) 第20回伝統工芸展

「染と織—真田紐・江戸小紋・江戸手描友禅—」

展示期間 令和4年7月9日(土)～9月19日(祝)

展示会場 2階企画・特別展示室

入館者数 3,549人【63日間】

関連事業 江戸小紋の型付けトートバッグづくり

実施日 令和4年7月23日(土)

会場 2階講義室

講師 板橋区登録無形文化財技術染小紋保持者
小林 福司

参加費 1,100円

実施状況 10時～12時 参加者 親子6組13人

14時30分～16時30分 参加者11人

友禅の彩色バンダナづくり

実施日 令和4年8月6日(土)・7日(日)・9月3日(土)・
4日(日) 各1日制

会場 2階講義室

講師 板橋区登録無形文化財手描友禅技術保持者
寺澤 森秋

参加費 3,000円

実施状況 8月6日(土) 参加者 12人

8月7日(日) 参加者 12人

9月3日(土) 参加者 12人

9月4日(日) 参加者 11人

(4) 開館50周年記念特別展

「接收刀剣 —板橋に集いし赤羽刀—」

展示期間 令和4年10月8日(土)～12月11日(日)

展示会場 2階企画・特別展示室

関連事業 日本刀をさわってみよう

実施日 令和4年10月29日(土)

会場 2階講義室

講師 都留市博物館「ミュージアム都留」服部浩平

参加費 無料
参加者 17人
はじめての刀装具—後藤家の名品に学ぶ—
実施日 令和4年12月3日(土)
会場 2階講義室
講師 都留市博物館「ミュージアム都留」服部浩平
参加費 無料
参加者 31人

(5) 企画展

「旧粕谷家住宅築300年記念 いたばしの古民家」

展示期間 令和5年1月21日(土)～3月19日(日)
展示会場 2階企画・特別展示室
関連事業 いたばしの古民家—旧田中家住宅を楽しむ—
実施日 令和5年2月11日(祝)
会場 2階講義室ほか
講師 板橋区文化財保護審議会委員、日本工業大学名誉教授 波多野純
参加費 無料

(6) ミニ企画展

①「高島平誕生秘話」

展示期間 令和4年4月5日(火)～7月3日(日)
展示会場 1階常設展示室

②「コロナを記録する」

展示期間 令和4年7月5日(火)～10月2日(日)
展示会場 1階常設展示室

③「“やきもの”の歴史」

展示期間 令和4年10月4日(火)～令和5年1月15日(日)
展示会場 1階常設展示室

④「いたばしSTYLE—板橋宿を訪れた旅人編—」

展示期間 令和5年1月17日(火)～4月2日(日)
展示会場 1階常設展示室

(7) コレクション展

会場はいずれも1階常設展示室

①「花鳥風月ワンダーランド」

展示期間 令和4年2月1日(火)～5月8日(日)
関連事業 「はじめての、かけじく」
実施日 令和4年4月16日(土)・24日(日)
参加者 7人
参加費 無料

②「クイズ!くずし字、読んでみよう—頼朝・和宮編—」

展示期間 令和4年5月10日(火)～7月31日(日)

③「木綿と藍—いたばし農家の装い—」

展示期間 令和4年8月2日(火)～10月23日(日)

④「徳丸の人類学者、樺太へ調査せり」

展示期間 令和4年10月25日(火)～令和5年1月29日(日)

⑤トプコン展示室リニューアル記念展

「板橋と光学 番外編—東京光学の光学製品—」

展示期間 令和5年1月31日(火)～4月23日(日)

2 館外展示教育普及事業

(1) 板橋の平和展「パネル展」

- ①区役所本庁舎 令和4年8月15日(月)～23日(火)
- ②赤塚支所 令和4年8月25日(木)～9月1日(木)
- ③教育科学館 令和5年3月7日(火)～14日(火)

(2) いたばし観光センター展示品展示替え 令和4年11月24日実施

(3) 区民まつり

- 会場 区民まつりおまつり広場(グリーンホール前道路)
- 実施日 令和4年10月15日(土)
- 実施内容 武者行列
- 参加者数 24人

(4) 農業まつり

- 会場 赤塚体育館通り周辺
- 実施日 令和4年11月12日(土)～13日(日)
- 実施内容 武者行列
12日(土)参加者数45人
赤塚地域の年中行事に関する展示
12日(土)・13日(日)

(5) 赤塚梅まつり「武者行列・鎧着付け体験等」

- 会場 赤塚城址公園、当館中庭
- 実施日 令和5年3月4日(土)～5日(日)
- 実施内容 太鼓・武者行列・鉄砲隊演武
4日(土)武者行列参加者数33人
鎧着付け体験
5日(日)参加者数186人(大人116人 子ども70人)

3 古民家年中行事

(1) 端午の節句

- 実施日 令和4年4月23日(土)～5月8日(日)
- 会場 古民家、中庭
- 実施内容 鯉のぼり・五月人形の展示

(2) タナバタ祭り

- 実施日 令和4年7月2日(土)～10日(日)
- 会場 古民家、中庭、1階ホール
- 実施内容 七夕飾りの展示、来館者による短冊作成

(3) お月見

- 実施日 令和4年9月10日(土)～18日(日)
- 会場 古民家
- 実施内容 徳丸・赤塚地区のお月見飾りの展示

(4) マユダマ飾り

実施日 令和5年1月7日(土)～15日(日)

会場 古民家、1階ホール

実施内容 マユダマ飾りの展示

(5) ヒナまつり

実施日 令和5年2月18日(土)～4月2日(日)

会場 古民家

実施内容 雛人形の展示

4 郷土資料館講座

(1) 文化講座

①「夏休み子ども教室」

ア 「親子で燃やせ！火おこし体験」

実施日 令和4年7月21日(木)・27日(水)・8月5日(金)
・17日(水)

9時45分～10時45分、11時30分～12時30分

会場 古民家

参加者 34人

イ 「いたばし子ども歴史大学！考古学入門」

実施日 令和4年8月13日(土) 14時～15時45分

会場 2階講義室

講師 淑徳大学教授 三宅俊彦 ほか

参加費 700円

参加者 16人

ウ 「エコ泡おせんたく」

実施日 令和4年8月14日(日) 10時～11時30分、
13時30分～15時

会場 2階講義室

参加者 22人

エ 「親子でつくろう毛糸ぞうり」

実施日 令和4年8月18日(木) 10時～11時30分、
13時30分～15時

会場 2階講義室

参加者 11人

オ 「桜染のハンカチづくり」

実施日 令和4年8月20日(土) 13時30分～15時30分

会場 2階講義室

参加費 1枚160円(1組2枚まで)

参加者 15人

カ 「藍染の手ぬぐいづくり」

実施日 令和4年8月25日(木) 13時30分～15時

会場 2階講義室

参加費 1枚290円(1組2枚まで)

参加者 14人

キ 「金継ぎ体験」

実施日 令和4年8月27日(土) 10時～11時30分、
13時30分～15時

会場 2階講義室

参加費 1,000円
参加者 親子5組11人、一般11人

②「古文書講座・初級4日間」

実施日 令和4年11月26日(土)・12月4日(日)・10日(土)・
24日(土) 14時～16時10分

会場 2階講義室

実施内容 「区内に現存する古文書の読み方」

講師 駒澤大学文学部教授 中野達哉

参加費 4,000円

参加者 24人

(2) 兜づくり教室

①孫や子に贈る兜づくり教室

実施日 令和4年4月24日(日)・29日(祝)・5月1日(日)・
3日(祝)の4日制

会場 2階講義室

講師 いたばし武者行列保存会

参加費 3,500円

参加者 4人

②親子兜づくり教室

実施日 令和4年7月24日(日)・30日(土)・31日(日)の
3日制

会場 2階講義室

講師 いたばし武者行列保存会

参加者 3組 6人

参加費 3,500円

5 その他の事業

(1) 鎧武者と写真を撮ろう！

実施日 令和4年5月5日(祝)

会場 中庭古民家前

参加者 278人

※鎧着付け体験は、新型コロナ対策として中止し、代替え事業として実施した。

(2) 勾玉づくり体験

実施日 令和4年7月21日(木)～8月31日(水)

会場 2階講義室前フロア

参加者 273人

(3) 夏休み自由研究相談

(アドバイザー・学芸員)

実施日 令和4年7月21日(木)～8月31日(水)

会場 1階ロビー他

相談者数 14人

(4) 館内クイズラリー

実施日 令和4年7月21日(木)～8月31日(水)

実施状況 全問正解者130人 出題数：低学年5問、高学年17問

(5) 自主研究支援

実施状況 相談件数240件、特別研究9件

(6) 収蔵資料貸出事業

実施状況 収蔵資料貸出件数 6件

画像使用許可件数 38件

(7) 博物館実習生受入事業

第1期 令和4年7月6日(水)～9日(土)・13日(水)～15日(金)
の7日間

実習生6人

第2期 令和4年10月5日(水)～8(土)、14日(金)～16日(日)
の7日間

実習生6人

(8) 出張授業等

当館学芸員が学校等に出張し、希望するテーマに応じた授業、講義を行う

① 淑徳大学

実施日 令和4年5月23日(月)

会場 淑徳大学

対象者 2年生 68人

内容 板橋区の歴史について、学生の調べ学習(板橋区の歴史に関する研究テーマ)に対するアドバイス

② 蓮根第二小学校

実施日 令和4年9月28日(水)

会場 蓮根第二小学校

対象者 3学年 3クラス97人

内容 学校近隣の地域の歴史、伝統芸能について

③ 上板橋第四小学校

実施日 令和4年10月11日(火)

会場 上板橋第四小学校

対象者 6学年12人

内容 旧川越街道の歴史について

④ 國學院大學

実施日 令和4年12月12日(月)・12月13日(火)

(オンライン録画配信 録画日は11月29日(火))

対象者 講義「博物館教育論」受講者170人

内容 板橋区立郷土資料館の教育普及活動の事例について

⑤大正大学

実施日 令和4年12月8日(木)

会場 郷土資料館

対象者 学生12人

内容 博物館における職務の実際、資料収集及び保管、展示等の実態について(展示室、収蔵庫等の見学をしながら解説)

⑥淑徳大学

実施日 令和4年12月16日(金)

会場 郷土資料館

対象者 1年生 23人

内容 地域博物館の現状と課題について(収蔵庫等の見学も含む)

⑦板橋グリーンカレッジ

実施日 令和4年7月29日(金)

対象 板橋グリーンカレッジ受講生 午前53人、午後61人

内容 板橋の歴史と文化財について

(9) 職場体験学習受入事業

実施日 令和4年6月2日(木)板橋第五中学校7年生 3人

(10) 区内小中学校団体見学受入事業 受入数・40校

令和4年6月16日(木)緑小 4学年 62人

7月8日(金)高島六小 3学年 70人

7月28日(木)志村四中 特別支援学級 24人

10月19日(水)板橋一小 3学年 85人

10月20日(木)緑小 3学年 46人

10月25日(火)蓮根二小 3学年 97人

11月22日(火)若木小 3学年 78人

11月24日(木)志村一小 3学年 69人

11月25日(金)前野小 3学年 78人

令和5年1月19日(木)成増ヶ丘小 3学年 107人

1月20日(金)高島二小 3学年 55人

1月25日(水)中台小 3学年 55人

1月26日(木)板橋六小 3学年 52人

1月27日(金)弥生小 3学年 43人

1月27日(金)上板橋小 3学年 44人

2月1日(水)志村五小 3学年 80人

2月2日(木)加賀小 3学年 71人

2月3日(金)高島五小 3学年 32人

2月3日(金)向原小 3学年 46人

2月7日(火)志村二小 3学年 72人

2月8日(水)北前野小 3学年 43人

2月9日(木)・16日(木)赤塚小 3学年 96人

2月14日(火)成増小 3学年 81人

2月15日(水)桜川小 3学年 104人

2月16日(木)紅梅小 3学年 120人

2月17日(金)板橋七小 3学年 62人

2月24日(金)筑波大附属桐ヶ丘特別支援学校 6人
2月24日(金)上板橋四小 3学年 75人
2月28日(火)舟渡小 3学年 79人
3月1日(水)赤塚新町小 3学年 39人
3月1日(水)大谷口小 3学年 63人
3月1日(水)・2日(木)志村六小 3学年 111人
3月2日(木)高島三小 3学年 57人
3月3日(金)・10日(金)蓮根小 3学年 88人
3月7日(火)中根橋小 3学年 70人
3月8日(水)三園小 3学年 103人
3月14日(火)志村小 3学年 67人
3月14日(火)板橋八小 3学年 61人
3月16日(木)新河岸小 3学年 23人
(区外)1月31日(火)豊島区立千早小 3学年 49人

(11) 他課等連携事業

①ぐるっと板橋スタンプラリー

令和4年9月28日(水)～令和5年1月18日(水)

主催：くらしと観光課

②渋沢栄一スタンプラリー

令和4年11月2日(水)～令和5年1月9日(月)

主催：くらしと観光課

③区制90周年施設特別キャンペーン(政策企画課取りまとめ)

令和4年10月1日(土)・2(日)

クイズラリー参加者先着90名にオリジナルクリアファイルを贈呈

参加者 52人

(12) 図録等頒布事業(通年実施)

延べ冊数 1,665件

売上金額 1,223,950円

(13) 古民家屋根等改修工事

工事期間 令和4年10月17日(月)～12月12日(月)

工事内容 古民家屋根の差し茅、外壁の補修

その他 工事期間中、古民家、納屋、井戸などの見学中止

6 新型コロナへの対応

令和4年9月8日に博物館における新型コロナウイルス感染拡大ガイドラインが改定され制限が緩和された。

当館においては、10月4日(火)以降、以下のとおり対応を変えた。

①いたばしナビの再開

1階展示室内のタッチパネル、いたばしナビを再開した。

②図書コーナーの再開

1階展示室内の図書コーナーを再開した。

③団体の入場制限の緩和

概ね1フロア10人程度でお願いしていた団体客の入場制限を、概ね1フロア20人程度に緩和した。

令和5年度 事業経過

1 展示事業

(1) 常設展示

令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)
入館者数 16,764人 【307日間】 ※令和6年1月末現在

(2) 収蔵品展「煎茶にしませんちゃ？」

展示期間 令和5年4月22日(土)～7月9日(日)
展示会場 2階企画・特別展示室
入館者数 4,367人【68日間】
関連事業 ギャラリートーク
実施日：令和5年5月6日(土) 6人
 令和5年6月10日(土) 9人
 令和5年7月8日(土) 13人
会 場：2階企画・展示室
参加者：3日間合計 28人

(3) 板橋区史跡公園(仮称)整備準備展覧会シリーズ 工都展 印刷産業「残す」と「伝える」

展示期間 令和5年7月21日(金)～9月10日(日)
展示会場 2階企画・特別展示室
入館者数 2,240人【45日間】
関連事業 ◆ギャラリートーク
実施日：令和5年8月5日(土) 2人
 令和5年8月27日(日) 7人
 令和5年9月9日(土) 12人
会 場：2階企画・展示室
参加者：3日間合計 21人

◆理化学研究所研究員講座「宇宙船望遠鏡レンズを覗いてみよう」
実施日：令和5年8月12日(土)
会 場：舟渡ものづくり研究開発センター
講 師：理化学研究所主任研究員 大森 整
参加者：親子6組 12人 小学生とその保護者

(4) 企画展 震災後100年

「いたばしの現代化—関東大震災をきっかけに板橋はどう変わったのか—」

展示期間 令和5年9月30日(土)～12月10日(日)
展示会場 2階企画・特別展示室
入館者数 4,973人【62日間】
関連事業 ◆ギャラリートーク
実施日：令和5年10月14日(土) 7人
 令和5年11月25日(土) 10人
会 場：2階企画・展示室
参加者：2日間合計 17人

◆記念講演 志村地区の土地区画整理に関する講義
実施日：令和5年12月3日（日）
会 場：2階企画・展示室
講 師：国土館大学政経学部専任講師 鈴木 智行
参加者：21人

(5) 特別展

「いたばしの富士山信仰—富士講用具と旅した人びと—」

展示期間 令和6年1月20日（土）～3月17日（日）

展示会場 2階企画・特別展示室

関連事業 ◆講演会1「いたばしの富士講—その歴史と文化財—」

実施日：令和6年2月17日（土）

会 場：2階企画・展示室

講 師：板橋区生涯学習課文化財係学芸員 吉田 政博

定 員：50人

◆ギャラリートーク

実施日：令和6年2月3日（土）、3月16日（土）

会 場：2階企画・展示室

定 員：15人

◆「赤塚周辺の富士塚めぐり」

赤塚諏訪神社、赤塚氷川神社などの富士塚散策

実施日：令和6年3月2日（土）

解説者：当館学芸員

定 員：30人

費 用：50円

◆講演会2「『江戸富士講—覧』の世界」

実施日：令和6年3月9日（土）

会 場：2階企画・展示室

講 師：荒川区立荒川ふるさと文化館学芸員 亀川 泰照

定 員：50人

(6) ミニ企画展

「いたばし浮世絵ものがたり」

展示期間 令和5年4月4日（火）～令和6年3月31日（日）

展示会場 1階常設展示室

※2～3か月毎に入替えあり

(7) コレクション展

会場はいずれも1階常設展示室

① トプコン展示室リニューアル記念展

「板橋と光学 番外編 東京光学の光学製品」

展示期間 令和5年1月31日（火）～4月23日（日）

②「木彫刻 佐藤昌月展」

展示期間 令和5年4月25日(火)～8月20日(日)

③「戦国を変えた火縄銃」

展示期間 令和5年8月22日(火)～12月17日(日)

関連事業 ◆「日本刀にさわってみよう」

実施日：令和5年10月14日(土)

会場：2階企画・展示室

参加者：午前20人 午後13人 計33人

◆「火縄銃講座」

実施日：令和5年11月4日(土)

会場：2階企画・展示室

参加者：午前42人 午後30人 計72人

④「いたばしの文人たち」

展示期間 令和5年12月19日(火)～令和6年4月21日(日)

2 館外展示教育普及事業

(1) 板橋の平和展「パネル展」

①区役所本庁舎 令和5年8月15日(火)～8月21日(月)

②赤塚支所 令和5年8月23日(水)～8月31日(木)

③教育科学館 令和6年3月2日(土)～3月7日(木) 予定

(2) いたばし観光センター展示品展示替え 令和6年1月20日実施

(3) 板橋区民まつり

会場 おまつり広場(グリーンホール前道路)

実施日 令和5年10月22日(日)

実施内容 いたばし戦国絵巻武者行列

参加者 33人(応募児童28人・大人5人)

(4) 板橋農業まつり

会場 赤塚体育館通り周辺

実施日 令和5年11月11日(土)

実施内容 赤塚城戦国絵巻武者行列

参加者 39人(応募児童30人・大人9人)

(5) 赤塚梅まつり

会場 赤塚溜池公園、赤塚城址、当館中庭

実施日 令和6年2月24日(土)～2月25日(日)

実施内容 赤塚城戦国絵巻武者行列、鎧着付け体験、鉄砲隊演武
和太鼓演奏(板橋区文化国際交流財団と共催)

募集数 行列参加児童30人、着付け体験は定員なし

3 古民家年中行事

(1) 端午の節句

実施日 令和5年4月15日(土)～5月7日(日)

会場 古民家、中庭

実施内容 鯉のぼり、五月人形の展示

(2) タナバタ祭り

実施日 令和5年7月1日(土)～9日(日)
会場 古民家、中庭、1階ホール
実施内容 七夕飾りの展示、来館者による短冊作成

(3) お月見

実施日 令和5年9月23日(土)～10月1日(日)
会場 古民家
実施内容 徳丸・赤塚地区のお月見飾りの展示

(4) マユダマ飾り

実施日 令和6年1月13日(土)～21日(日)
会場 古民家、1階ホール
実施内容 マユダマ飾りの展示

(5) ヒナまつり

実施日 令和6年2月17日(土)～3月31日(日)
会場 古民家
実施内容 ひな人形の展示

4 郷土資料館講座

(1) 文化講座

①「夏休み子ども教室」

ア「親子で燃やせ！火おこし体験」

実施日 令和5年8月5日(土)、8月12日(土)
9時45分～10時45分、11時30分～12時30分

会場 古民家

参加者 16人

イ「藍染のハンカチ作り」

実施日 令和5年8月19日(土) 13時30分～15時

会場 2階講義室

参加費 1枚 520円

参加者 11人

ウ「甲冑をみて！きいて！さわろう」

実施日 令和5年8月26日(土) 13時～14時

会場 2階講義室

参加者 15人

②「古文書講座・中級」

実施日 令和5年11月25日(土)、12月2日(土)
12月9日(土)、12月23日(土) 4日制
14時～16時10分

会場 2階講義室

講師 駒澤大学文学部教授 中野 達哉

参加費 4,000円

参加者 16人

(2) 兜づくり教室

①孫や子に贈る兜づくり教室

実施日 令和5年4月22日(土)、4月23日(日)、4月29日(祝)
4月30日(日) 4日制

会場 2階講義室
講師 いたばし武者行列保存会
参加者 5人
参加費 3,500円

②親子兜づくり教室

実施日 令和5年7月23日(日)、7月29日(土)、
7月30日(日) 3日制

会場 2階講義室
講師 いたばし武者行列保存会
参加者 5組 10人
参加費 3,500円

5 その他の事業

(1) 鎧着付け体験

実施日 令和5年5月5日(祝) 10時~12時、13時~14時30分
会場 中庭古民家前
参加者 146人

(2) 勾玉づくり体験

実施日 令和5年7月21日(金)~8月31日(木)
会場 2階講義室前フロア
参加者 316人

(3) 夏休み自由研究相談

(アドバイザー・学芸員)

実施日 令和5年7月21日(金)~8月31日(木)
会場 1階ロビー他
相談者数 16人

(4) 館内クイズラリー

実施日 令和5年7月21日(金)~8月31日(木)
参加者 全問正解者 99人 出題数:低学年4問、高学年17問

(5) 自主研究支援

実施状況 相談件数 141件、特別研究9件 ※令和6年1月末現在

(6) 収蔵資料貸出事業

実施状況 収蔵資料貸出件数 2件
画像使用許可件数 5件 ※令和6年1月末現在

(7) 博物館実習生受入事業

実習期間 令和5年9月21日(木)~23日(土)
9月27日(水)~30日(土) 7日間
実習生 5人

(8) 出張授業等

当館学芸員が学校等に出張し、希望するテーマに応じた授業、講義を行う

① 弥生小学校

実施日 令和5年9月11日(月)

対象者 3年生 65人

内 容 郷土資料館の紹介

② 板橋第一小学校

実施日 令和5年10月3日(火)

対象者 6年生 90人

内 容 いたばし地域の歴史について

③ 淑徳大学

実施日 令和5年10月18日(水)

対象者 人文学部歴史学科2年生 80人

内 容 学生の研究テーマについて講義、質疑応答

④ 高島平図書館

実施日 令和5年11月25日(土)

対象者 来館者 32人

内 容 高島秋帆と高島平について

⑤ 下赤塚小学校

実施日 令和5年11月30日(木)

対象者 3年生 86人

内 容 板橋と大根の歴史

⑥ 成増図書館

実施日 令和5年12月3日(日)

対象者 来館者 11人

内 容 高島秋帆と高島平について

⑦ 國學院大學

実施日 令和5年12月6日(水)

対 象 國學院大學学芸員課程受講生 180人

内 容 郷土資料館の教育普及について
資料館講義室にてZoomによる講義

※令和6年1月末現在

(9) 職場体験学習受入事業

実施日 令和5年6月2日(金) 板橋第五中学校7年生 3人

令和5年11月24日(金) 高島第一中学校7年生 4人

※令和6年1月末現在

(10) 区内小中学校団体見学受入事業

実施状況 19校、延べ1,583人

※令和6年1月末現在

No.	実施日	曜日	学校	学年	人数
1	6月14日	水	赤塚第一中学校	7年生	173名
2	6月23日	金	志村第四小学校	3年生	120名
3	10月17日	火	緑小学校	3年生	55名
4	10月26日	木	板橋第四小学校	3年生	76名
5	11月15日	水	志村坂下小学校	3年生	98名
6	11月22日	水	志村第一小学校	3年生	55名
7	11月24日	金	蓮根第二小学校	3年生	89名
8	12月1日	金	向原小学校	3年生	55名
9	12月12日	火	若木小学校	3年生	88名
10	1月17日	水	加賀小学校	3年生	65名
11	1月18日	木	成増ヶ丘小学校	3年生	116名
12	1月19日	金	前野小学校	3年生	103名
13	1月23日	火	志村第六小学校	3年生	108名
14	1月24日	水	新河岸小学校	3年生	16名
15	1月25日	木	大谷口小学校	3年生	65名
16	1月26日	金	板橋第十小学校	3年生	114名
17	1月26日	金	上板橋小学校	3年生	41名
18	1月30日	火	蓮根小学校	3年生	85名
19	1月31日	水	上板橋第四小学校	3年生	61名

(11) 他部署、他自治体等との連携事業

①「金の道」デジタルスタンプラリー

令和5年10月1日～令和6年3月10日

主催：新潟県佐渡市

②8公園を巡るスタンプラリー

令和5年10月28日～12月17日

主催：公益財団法人東京都公園協会

③いたばしウオーキング大会

令和5年11月3日

主催：板橋区区民文化部スポーツ振興課

④ぐるっと板橋スタンプラリー

令和5年11月8日～令和6年1月10日

主催：板橋区産業経済部くらしと観光課

赤塚エリア達成賞として、郷土資料館オリジナルクリアファイルを贈呈

⑤板橋区×北区 渋沢栄一スタンプラリー

令和5年11月9日～令和6年1月8日

主催：板橋区産業経済部くらしと観光課

(12) 図録等頒布事業(通年実施)

延べ冊数 736件

売上金額 490,800円

※令和6年1月末現在

令和6年度 事業計画

1 展示事業

(1) 常設展示

令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)

(2) 板橋区史跡公園(仮称)準備展覧会シリーズVer.3

“工都”キャラバン 科学研究 コズミック!線を紡ぐ理研板橋分所
令和6年4月20日(土)～6月23日(日)

(3) 収蔵品展「紅梅小創立 150周年記念 そのかぐわしき名をあげよ

—徳丸村の学び舎から—

令和6年7月13日(土)～9月16日(月・祝日)

(4) 第21回板橋区伝統工芸展「江戸手描友禅 寺澤森秋

—時代を彩る染めと技—

令和6年10月5日(土)～12月8日(日)

(5) 特別展「樺太紀行～徳丸の人類学者と樺太の北方諸民族～」

令和7年1月18日(土)～3月16日(日)

(6) ミニ企画展

人の一生Ⅰ 結婚～門出を祝う～

令和6年4月2日(火)～6月30日(日)

人の一生Ⅱ 葬式～死者を弔う～

令和6年7月2日(火)～9月29日(日)

人の一生Ⅲ 誕生と成長～子への思い～

令和6年10月1日(火)～12月28日(土)

人の一生Ⅳ 新年を重ねる～新年を寿ぐ～

令和7年1月4日(土)～3月30日(日)

(7) コレクション展

①「砲術資料から読み解く高島秋帆の弟子たち」

令和6年4月23日(火)～7月28日(日)

②「板橋第一小学校創立 150周年記念 板橋の地に健児あり」

令和6年7月30日(火)～10月14日(月・祝日)

③「板橋区伝統工芸保存会創立 20周年記念 伝統をつなぐ板橋の職人」

令和6年10月15日(火)～令和7年1月26日(日)

④「速報展 蓮沼家資料～いたばしの暮らしの変化～」

令和7年1月28日(火)～4月27日(日)

2 館外展示教育普及事業

(1) 板橋の平和展「パネル展」

①区役所本庁舎(令和6年8月)

②赤塚支所(令和6年8月)

③教育科学館(令和7年3月予定)

(2) いたばし観光センター展示品展示替え(令和6年11月頃)

(3) 板橋区民まつり「武者行列」

令和6年10月20日(日) 予定

(4) 板橋農業まつり「武者行列」

令和6年11月9日(土) 予定

(5) 赤塚梅まつり「武者行列・鎧着付け体験等」

令和7年3月初旬予定

3 古民家年中行事

- (1) 端午の節供 (4~5月)
- (2) 七夕まつり (7月)
- (3) お月見 (9~10月)
- (4) マユダマ飾り (1月)
- (5) ヒナまつり (2~4月)

4 郷土資料館講座

- (1) 文化講座
 - ①「夏休み子ども教室」(8月予定)
※各学芸員がそれぞれ講座を企画し、開催する。
 - ②「古文書講座・初級4日間」(11月下旬~12月頃予定)
- (2) 兜づくり教室
 - ①孫や子に贈る兜づくり教室 (4月~5月頃予定)
 - ②親子兜づくり教室 (7月予定)

5 その他の事業

- (1) 鎧着付け体験 (5月)
- (2) 勾玉づくり体験 (7~8月)
- (3) 夏休み自由研究相談 (7~8月)
- (4) 館内クイズラリー (7~8月)
- (5) 自主研究支援 (通年実施)
- (6) 収蔵資料貸出事業 (通年実施)
- (7) 博物館実習生受入事業 (7月頃予定)
- (8) 博物館実習関連団体受入事業 (通年実施)
- (9) 職場体験学習受入事業 (区内中学生対象・随時実施)
- (10) 区内小中学校団体見学受入事業 (区内小中学校対象・随時実施)
- (11) 他課連携事業 (随時実施)
- (12) 図録等頒布事業 (通年実施)

企画展・特別展等 企画書（案）

展 示 名	板橋区史跡公園（仮称）整備準備展覧会シリーズ Ver.3 “工都”キャラバン 科学研究 コズミック！線つむぐ理研板橋分所
趣 旨	<p>本展は、平成 26 年度（2014）から始まった史跡公園整備事業と調査研究の成果を、区民をはじめとした多様な人々に向けて、展覧会のかたちでわかりやすく紹介する「板橋区史跡公園（仮称）整備準備展覧会シリーズ」の一環です。パネル展形式で、「キャラバン」と題して板橋区立中央図書館をはじめとした区内各施設で開催する巡回展です。</p> <p>令和 3 年度からは、3 カ年連続シリーズとして“工都”展を開催しており、これまで「光学産業」、「印刷産業」を紹介してきました。その最終年に当たる本展は「科学研究」をテーマに取り上げ、理化学研究所板橋分所に関する展示を行います。</p> <p>理化学研究所板橋分所は、昭和 21 年（1946）に板橋区加賀の板橋火薬製造所の跡地（現在の史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」指定地）の一画へ入居し、「廃墟」同然の建物の中で宇宙線の連続観測を開始しました。昭和 40 年代には国際的な観測プロジェクトの中心的機関になり、それ以降も宇宙線研究の世界的な拠点として活動してきました。本展では「研究者たちの活動」に注目し、その全貌を「線」をコンセプトに読み解きます。</p> <p>本展はパネル展ですが、日本大学生産工学部中澤研究室（中澤公伯教授）との共同研究で完全再現した板橋分所の模型、さらに理化学研究所や国立極地研究所が所蔵する貴重な映像作品なども展示します。</p>
会 期	令和6年4月20日（土）～6月23日（日）56日間 ※月曜休館（ただし祝日の場合は開館し、翌日休館） 開館時間：9時30分～17時00分（入館は16時30分まで）
会 場	郷土資料館 2階企画・特別展示室
観 覧 料	無料
展 示 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ① ハイライト ② 板橋分所の系譜 “オヤカタ”の研究をつなぐ ③ 連続観測の挑戦 まっすぐ貫く51年 ④ 山へ！雲の彼方へ！南極へ！ 研究の多角化 ⑤ 線がうまれるところ ⑥ プレイバック！工都展
関 連 事 業	文化財講座「宇宙線と手仕事と ～理研板橋分所のすべて～」（仮題） （講師：文化財係 学芸員 杉山 宗悦）
印 刷 物	ポスター、リーフレット（8頁）
担 当	文化財係 学芸員 杉山 宗悦

企画・特別展等 企画書(案)	
展 示 名	収藏品展「紅梅小学校創立 150 周年記念 そのかくわしき名をあげよー徳丸村の学び舎からー」
趣 旨	区内最古の小学校のひとつである紅梅小学校は、明治 7 年（1874）8 月 25 日に安楽寺（徳丸 8 丁目 9-1）内に設立され、今年で 150 周年を迎えます。学校の設立以前から、地域には有志による寺子屋があり、それらを統合する形で開校されました。明治 22 年（1889）には、村民の寄付によって現在地に校舎が建築され、大正 11 年（1922）には個人の寄付によって廃校の危機を脱しました。寺子屋の師匠から紅梅小学校の教員となった人物もあり、まさに村が創り村が支えてきた学校であるといえるでしょう。今回は、区登録有形文化財である紅梅小学校校史資料をはじめ、地域で大切に守られてきた資料を展示し、村とともに歩んできた紅梅小学校の歴史を振り返ります。
会 期	令和 6 年 7 月 13 日（土）～9 月 16 日（月・祝） 57 日間 ※月曜休館（ただし祝日の場合は開館し、翌日休館） 開館時間：9 時 30 分～17 時 00 分（入館は 16 時 30 分まで）
会 場	2 階企画・特別展示室
観 覧 料	無料
展 示 内 容	紅梅小学校校史資料 徳丸地域の家文書（安井家文書、粕谷家文書、榎本家文書など） 各時代の往来物や教科書、文具など
関 連 事 業	展示解説（仮）、往来物を読む講座（仮）、紅梅小学校公式キャラクター「かばまる」が資料館にやってくる（仮）
印 刷 物	ポスター、チラシ、パンフレット
担 当	学芸員 増田 由貴

企画展・特別展等 企画書(案)

展 示 名	<p style="text-align: center;">第 21 回板橋区伝統工芸展 「江戸手描友禅 寺澤森秋 一時代を彩る染と技」</p>
趣 旨	<p>江戸手描友禅の職人である寺澤森秋氏のあゆみを紹介するとともに、着物や帯などの作品を展示します。手描友禅とは、糊防染（糸目糊）と色挿しを併用して、模様を華やかに表現する技法です。</p> <p>寺澤氏は、昭和 21 年（1946）に長野県長野市に生まれました。昭和 39 年（1964）に上京し、日本橋の「中央染芸」で修行を積みました。昭和 47 年（1972）に独立し、板橋区弥生町に「弥生染芸」を設立しました。平成 29 年（2017）に「東京都優秀技能者（東京マイスター）」、令和元年（2019）に「卓越した技能者（現代の名工）」など、数多くの賞を受賞。令和 4 年（2022）には「黄綬褒章」を受章しました。</p> <p>寺澤氏は技を磨き続け、常に新たな表現方法を模索して作品制作に取り組まれています。作品を通して、寺澤氏の卓越した技と、江戸手描友禅の魅力を感じていただければ幸いです。</p>
会 期	<p>令和 6 年 10 月 5 日（土）～12 月 8 日（日） 56 日間 ※月曜休館（ただし祝日の場合は開館し、翌日休館） 開館時間：9 時 30 分～17 時 00 分（入館は 16 時 30 分まで）</p>
会 場	郷土資料館 2 階企画・特別展示室
観 覧 料	無料
展 示 内 容	<p>1 江戸手描友禅とは 展示資料：歴史、制作工程の紹介パネル。筆や糊筒などの道具。</p> <p>2 職人 寺澤森秋のあゆみ 展示資料：寺澤氏の年表パネル。着物、帯などの作品。</p>
関 連 事 業	講演会、江戸手描友禅体験、展示解説
印 刷 物	図録、ポスター、チラシ
担 当	学芸員 四戸 菜穂

企画・特別展等 企画書(案)	
展 示 名	「樺太紀行 ～徳丸の人類学者と樺太の北方諸民族～」
趣 旨	<p>石田収蔵は、東京帝国大学の人類学教室を主宰していた鳥居龍蔵の次席に当る人類学者でした。大正9年には、現在の東武東上線東武練馬駅周辺に居を構え、板橋徳丸の地から様々な地を調査しました。明治～昭和初期にかけて、収蔵は樺太の北方諸民族のうち、樺太アイヌ・ウィルタ・ニブフの民俗調査に出かけたことが葉書や写真から判明しています。また、収蔵のノートは、当時の北方諸民族の人々の聞き取りや風俗を知ることができる貴重な記録となっています。</p> <p>今回の展示では、徳丸の人類学者である石田収蔵と調査した樺太の北方諸民族について紹介します。本展覧会を機に、石田収蔵のことを知っていただくだけでなく、異文化を学び尊重するきっかけを築くことができれば幸いです。</p>
会 期	令和7年1月18日(土)～3月16日(日) 50日間 ※月曜休館(ただし祝日の場合は開館し、翌日休館) 開館時間：9時30分～17時00分(入館は16時30分まで)
会 場	2階企画・特別展示室
観 覧 料	無料
展 示 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・石田収蔵の自筆ノート・絵葉書類 ・石田収蔵が収集した資料(国立民族学博物館所蔵)
関 連 事 業	展示解説、ムックリ体験、講演会
印 刷 物	ポスター、チラシ、図録
担 当	学芸員 細縦 雄貴

ミニ企画展 企画書(案)

展示案	展示名	人の一生Ⅰ 結婚 ～門出を祝う～
	会 期	令和6年4月2日(火)～6月30日(日) 78日間
	展示概要	<p>ミニ企画展では、民俗学の視点から、いたばしの人々が人生の節目に行なってきた儀礼について取り上げます。</p> <p>その第1弾として、結婚について取り上げます。かつて結婚式は家で行なうのが一般的でした。その後、いたばしでは、昭和30年代ごろから、結婚式の場が徐々に式場へと移っていき、洋風の結婚式も行なわれるようになりました。館蔵品の漆器や写真を用いて、いたばしの結婚のあり方と、その変化について紹介します。</p>
	担 当	学芸員 津金 滯乃
展示案	展示名	人の一生Ⅱ 葬式 ～死者を弔う～
	会 期	令和6年7月2日(火)～9月29日(日) 78日間
	展示概要	<p>第2弾として、いたばしの葬式を取り上げます。かつての葬式は、地域の人々の助け合いのもとで行なわれていました。時代と共に、土葬から火葬へ、家から葬儀場へなどの多くの変化を経て、近年では家族葬のような小規模な葬式のあり方も注目されています。そのような中でも、現在もいたばしの一部の地域では、葬儀を助け合う念仏講が活動を続けています。最新の調査の成果も盛り込みながら、館蔵品の数珠や文書を用いて、いたばしの死者供養のあり方とその変化について紹介します。</p>
	担 当	学芸員 津金 滯乃
展示案	展示名	人の一生Ⅲ 誕生と成長 ～子への思い～
	会 期	令和6年10月1日(火)～12月28日(土) 77日間
	展示概要	<p>第3弾として、子の誕生と成長を取り上げます。いたばしでは、出産にあたり子安観音や子育て地蔵に安産を祈願していました。子が生まれてからは、子の健やかな成長を願って、宮参りやお食い初め、七五三などの儀礼が行なわれました。時代と共に、出産や子育てのあり方は変化してきていますが、その儀礼の一部は現代にも引き継がれています。館蔵品の衣類や文書を用いて、出産と育児をとりまく環境の変化とともに、子の誕生と成長にまつわる儀礼を紹介します。</p>
	担 当	学芸員 津金 滯乃
展示案	展示名	人の一生Ⅳ 年を重ねる ～新年を寿ぐ～
	会 期	令和7年1月4日(土)～3月30日(日) 74日間
	展示概要	<p>第4弾として、人が年を重ねていくことについて、新年の行事にも注目しながら取り上げます。現代では、各人が誕生日に年を取るとされていますが、かつては、正月に人々がいっせいに年を取るのが一般的でした。1月から2月にかけては、門松や雑煮をはじめとして新年にまつわる行事が集中しています。いたばしの徳丸地域、赤塚地域に伝わる田遊びも、1年のはじめに新年を寿ぎ、豊作を願う行事といえます。館蔵品の漆器や田遊び関連の資料を用いて、年取りの行事について紹介します。</p>
	担 当	学芸員 津金 滯乃

コレクション展 企画書(案)

展示案	展示名	砲術資料から読み解く高島秋帆の弟子たち
	会 期	令和6年4月23日(火)～7月28日(日) 84日間
	展示概要	当館には、高島秋帆に関連して多くの砲術資料をコレクションしています。今回は、砲術資料の中から高島秋帆の弟子である江川太郎左衛門や下曾根信敦、江川や下曾根から西洋流砲術を学んだ佐久間象山などの砲術資料を紹介します。
	関連事業	火縄銃講座、西洋銃講座、刀剣講座、講演会「高島秋帆と高島平」
	担 当	学芸員 細縦 雄貴
展示案	展示名	板橋第一小学校創立150周年記念 板橋の地に健児あり
	会 期	令和6年7月30日(火)～10月14日(月・祝) 67日間
	展示概要	最古の区立小学校のひとつである板橋第一小学校の創立150周年を記念して、これまでのあゆみを振り返るとともに、館蔵品の卒業アルバム等から、懐かしい学び舎の姿を紹介します。
	担 当	学芸員 増田 由貴
展示案	展示名	板橋区伝統工芸保存会創立20周年記念 伝統をつなぐ板橋の職人
	会 期	令和6年10月16日(水)～令和7年1月26日(日) 84日間
	展示概要	板橋区伝統工芸保存会は、板橋区の伝統工芸に携わる職人相互の理解を深め、そして伝統工芸の技術や作品を広く区民に伝える機会を増やすために、平成16年(2004)に結成されました。本展では、同会の20年間のあゆみをご紹介します。 また、展示作品を通して、伝統工芸の魅力と職人の技をご覧ください。機会とします。
	担 当	学芸員 四戸 菜穂
展示案	展示名	速報展 蓮沼家資料 ～いたばしの暮らしの変化～
	会 期	令和7年1月28日(火)～4月27日(日) 78日間
	展示概要	小豆沢村の名主を務めた蓮沼家に伝わる資料から、暮らしに関する資料を中心に展示します。当館では、令和5年8月から、蓮沼家資料の整理と調査に取り組んでいます。資料調査の速報展として、民具を中心とする近世から近現代にかけての資料を紹介し、かつてのいたばしの暮らしとその移り変わりについて知っていただく機会を提供します。
	担 当	学芸員 津金 滯乃

板橋区立郷土資料館運営協議会要綱

(平成28年3月25日教育長決定)

(設置)

第1条 東京都板橋区立郷土資料館（以下「館」という。）の適正な運営を図るため、板橋区立郷土資料館運営協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(委員)

第2条 協議会は、次の各号に定めるもののうちから、東京都板橋区教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する委員10人以内をもって組織する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 住民の代表
- (3) 教育関係者

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。但し、再任を妨げない。

2 欠員が生じた場合の補欠委員任期は、前任者の残任期間とする。

(会長の設置)

第4条 協議会に会長を置く。

2 会長は、委員が互選する。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。

4 会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名した委員が、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会は、会長が必要に応じて招集する。

2 協議会は、館の運営に関し、教育委員会に対して意見を述べることができる。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が定める。

付則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

郷土資料館入館者数 年度別推移

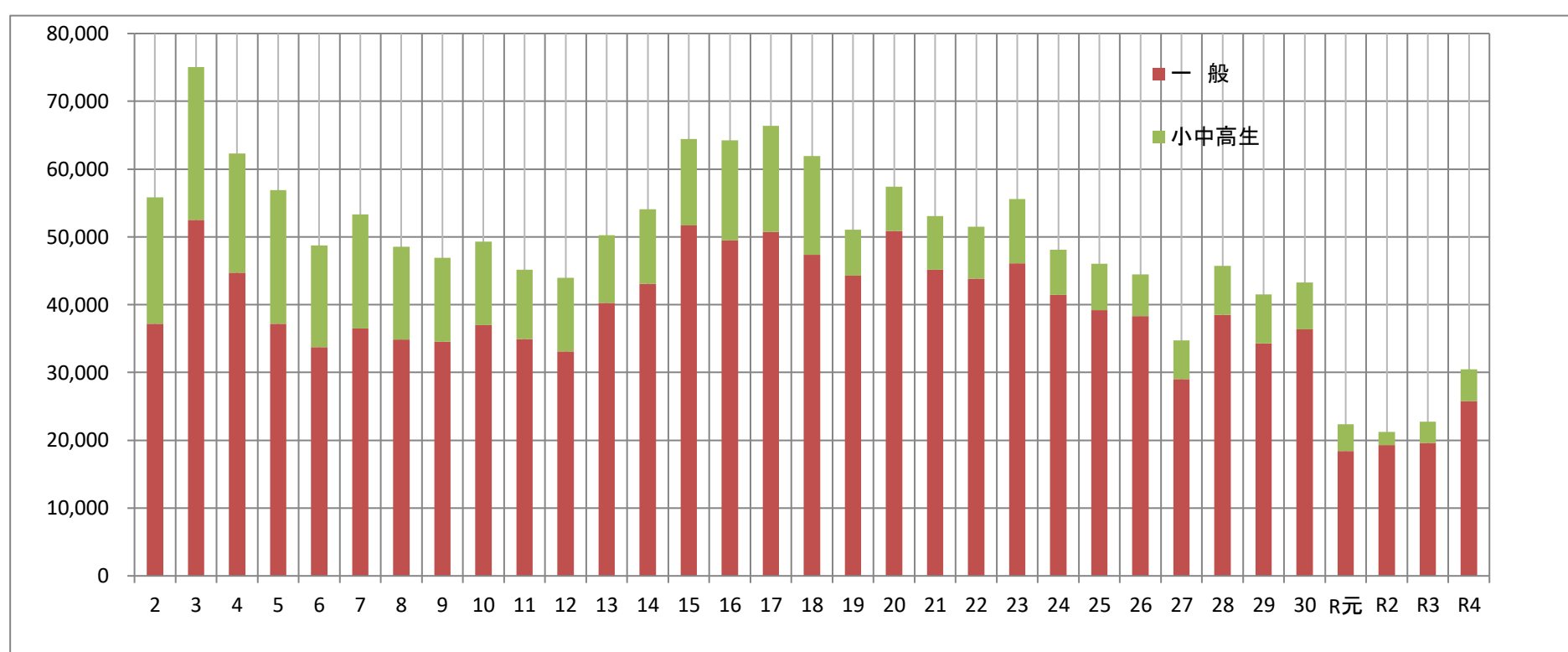
単位 人

年度	一般	小中高生	合計
平成2年度	37,168	18,676	55,844
平成3年度	52,525	22,541	75,066
平成4年度	44,713	17,617	62,330
平成5年度	37,171	19,752	56,923
平成6年度	33,738	15,009	48,747
平成7年度	36,487	16,836	53,323
平成8年度	34,863	13,719	48,582
平成9年度	34,558	12,355	46,913
平成10年度	37,018	12,259	49,277
平成11年度	34,913	10,229	45,142
平成12年度	33,100	10,862	43,962
平成13年度	40,280	9,953	50,233
平成14年度	43,114	10,952	54,066
平成15年度	51,675	12,785	64,460
平成16年度	49,470	14,756	64,226
平成17年度	50,745	15,619	66,364
平成18年度	47,377	14,542	61,919
平成19年度	44,293	6,798	51,091
平成20年度	50,903	6,473	57,376
平成21年度	45,160	7,921	53,081
平成22年度	43,861	7,615	51,476
平成23年度	46,120	9,451	55,571
平成24年度	41,427	6,682	48,109
平成25年度	39,196	6,838	46,034
平成26年度	38,315	6,164	44,479
平成27年度	29,034	5,706	34,740
平成28年度	38,493	7,206	45,699
平成29年度	34,280	7,209	41,489
平成30年度	36,376	6,912	43,288
令和元年度	18,403	3,988	22,391
令和2年度	19,292	1,928	21,220
令和3年度	19,579	3,140	22,719
令和4年度	25,765	4,674	30,439

令和5年度入館者数
(令和6年1月末現在)

一般	小中高生	合計
14,150	2,614	16,764

※令和元年度 元年9月2日～2年1月17日まで展示再整備のため休館
 ※令和2年度 2年4月4日～5月29日 新型コロナウイルス感染拡大 緊急事態宣言により休館
 ※令和3年度 3年4月27日～5月30日 新型コロナウイルス感染拡大 緊急事態宣言により休館



板橋区立郷土資料館運営協議会委員名簿

(1) 学識経験を有する者

番号	氏名	備考
1	もりた きくお 森田 喜久男	淑徳大学人文学部教授
2	なかの きわ 中野 紀和	大東文化大学社会学部教授
3	おぐら じゅんいち 小倉 淳一	法政大学文学部教授
4	すすき しょうせい 鈴木 章生	目白大学社会学部教授
5	いりえ のぶこ 入江 宣子	元・文化庁文化審議会専門委員

(2) 住民の代表

番号	氏名	備考
6	べっぴ あきお 別府 明雄	いたばし武者行列保存会会長
7	えぐち きよし 江口 清	いたばしまち博友の会会長

(3) 教育関係者

番号	氏名	備考
8	きむら みちと 木村 道人	板橋区立新河岸小学校校長 板橋区教育会 社会科研究部長
9	なかむら よしお 中村 嘉男	板橋区立志村第四中学校校長 板橋区立中学校教育研究会 社会科部長

(4) 事務局

番号	氏名	備考
10	あまがい しゅうじ 雨谷 周治	板橋区教育委員会事務局 地域教育力担当部長
11	おおた ひろあき 太田 弘晃	板橋区教育委員会事務局 生涯学習課長
12	よしだ まさひろ 吉田 政博	板橋区教育委員会事務局 生涯学習課 文化財係長
13	さいとう ゆうこ 齋藤 裕子	板橋区教育委員会事務局 生涯学習課 郷土資料館 館長
14	ますだ ゆき 増田 由貴	板橋区教育委員会事務局 生涯学習課 郷土資料館 学芸員
15	しのへ なほ 四戸 菜穂	板橋区教育委員会事務局 生涯学習課 郷土資料館 学芸員
16	ほそもみ ゆうき 細縦 雄貴	板橋区教育委員会事務局 生涯学習課 郷土資料館 学芸員
17	こうの あやり 河野 彩里	板橋区教育委員会事務局 生涯学習課 郷土資料館 学芸員
18	つがね みおの 津金 凛乃	板橋区教育委員会事務局 生涯学習課 郷土資料館 学芸員(育児休業代替任期付き職員)